

定期検査中の福島第一原子力発電所4号機使用済燃料プールでの
金属らしきものの発見について

平成17年7月26日

当所4号機(沸騰水型、定格出力78万4千キロワット)につきましては、平成17年6月25日より第20回定期検査を実施しておりますが、本日、使用済燃料プール内で燃料集合体外観の自主検査*¹を実施していたところ、午前10時33分頃、1体の燃料集合体下部(スパーサ*²部)に金属らしきものを1個(長さ約1cm)発見しましたのでお知らせいたします。

今後、この異物の調査を行います。

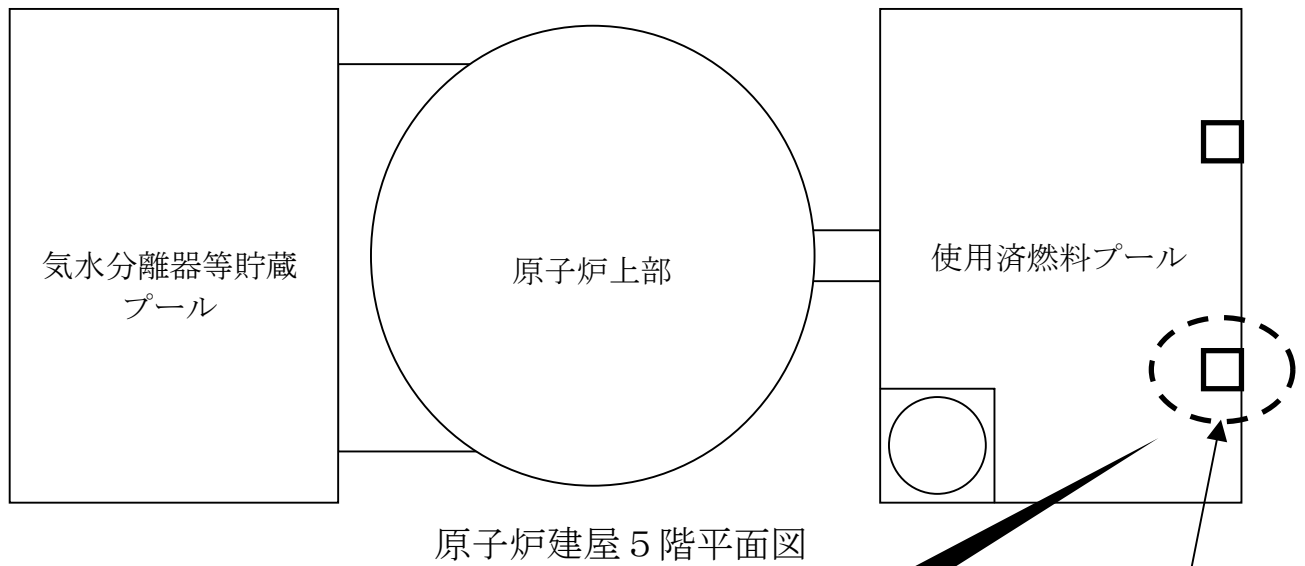
以上

*1 燃料集合体外観の自主検査

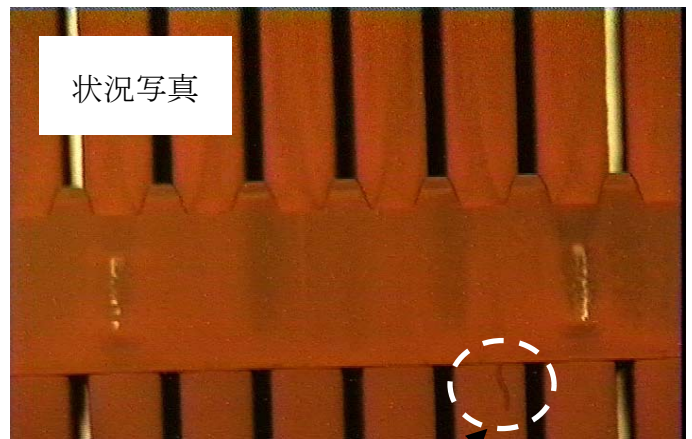
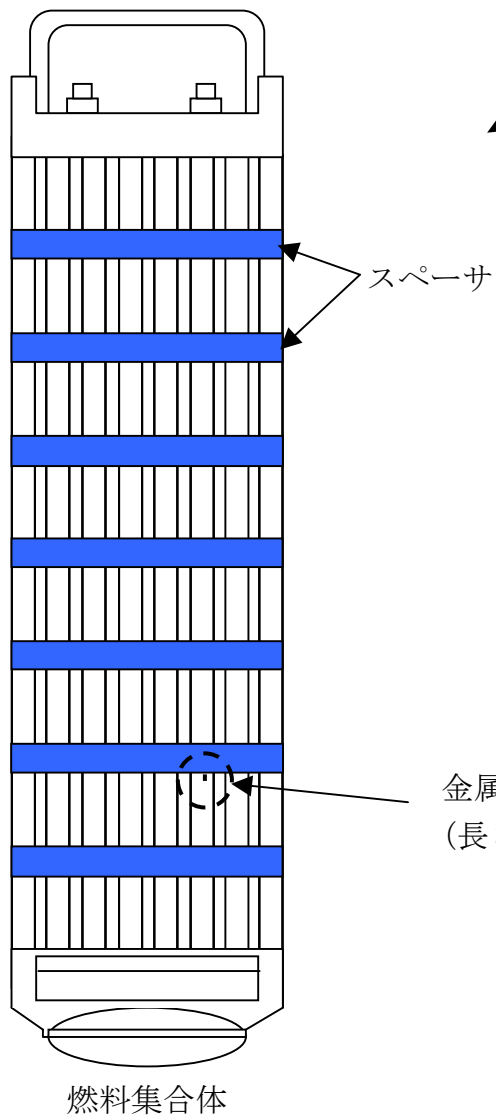
当社が自主的に実施しているもので、再使用しない使用済燃料のうち、燃焼の進んだ燃料数体を代表として水中カメラにより外観を確認するもの。

*2 スパーサ

燃料棒と燃料棒の間隔を所定の間隔に保つための部品。



作業エリア
(点検架台)



4号機 使用済燃料プールでの金属らしきものの発見概略図